

マイタイムライン作成地区別ガイドライン
〈静浦地区〉

静浦地区について

海と山に囲まれた地区で、沿岸部の陸地はほどなく鷲頭山をはじめとする沼津アルプスへと接続していきます。

急傾斜地のいくつかは土砂災害（特別）警戒区域等に指定されていますが、平地の一部も狩野川氾濫時の洪水浸水想定区域に指定されています。

狩野川放水路が整備されてから 50 年以降、大きな水害はありませんが、道路冠水や土砂災害は複数の個所で発生しており、大雨の際には気象状況に注意する必要があります。

1 該当する単位自治会

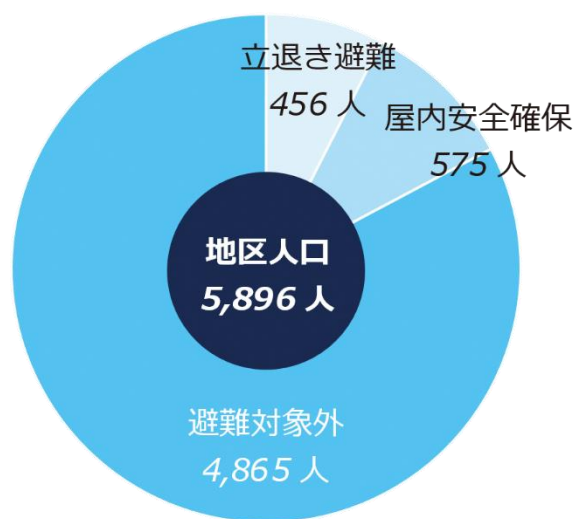
志下、馬込、獅子浜、江浦、多比、口野

2 地区内で洪水浸水を及ぼす河川

狩野川

3 地区周辺の雨量

- 令和元年 10 月台風 19 号
270.5mm (10/11~12 日)
- 令和 3 年 7 月豪雨
315.5 (7/1~3 日)
- 令和 3 年 9 月豪雨
202.5mm (9/1~2 日)



図：地区の避難人口の割合

4 地区の避難人口と指定緊急避難場所

地区内の避難人口は、浸水想定区域内の志下地区で、立退き避難が 456 人、屋内安全確保が 575 人、合計 1,031 人となっています。志下地区の人口は 2,876 人のため、35%の方が立ち退き避難又は屋内安全確保が必要な状況です（静浦地区全体では人口は 5,896 人のうち約 2 割の方が立ち退き避難又は屋内安全確保が必要な状況。）。

指定緊急避難場所として静浦地区センター（静浦小中一貫学校）、沼津市文化財センター（旧静浦西小学校）を指定しています。市が避難情報を発令したときは、静浦地区センターを避難場所として開設します。自主避難者がいたり、静浦地区センターだけでは避難者を受け入れられないときなどは、沼津市文化財センターを開設します。

いずれの避難場所も敷地付近が土砂災害（特別）警戒区域のため、状況に応じて山側から離れた場所又は上層階への避難が必要となります。

避難場所	延べ床面積 (㎡)	※収容人数 (人)
静浦地区センター (静浦小中一貫学校)	12,883	2,732
沼津市文化財センター (旧静浦西小学校)	8,534	1,810

※収容人数は感染症等に配慮しない形での目安

5 洪水地区タイムライン例

北部の志下地区で市街地を流れる狩野川の影響による浸水が想定されており新中川の水位状況を確認しながら避難の検討を行っていく必要があります。

急傾斜地が居住地区の周辺に多く、土砂災害 (特別) 警戒区域・土砂災害特別経過区域に指定されている箇所は、土砂災害警戒情報等に注意が必要です。

洪水浸水想定区域における浸水深は 0.5～1 m、浸水想定時間は概ね半日となっています (いずれも想定最大規模)。

水位状況は静岡県サイポスレーダーやテレビの d ボタン等から最新の情報を確認できます。

河川名称 観測所	警戒 レベル	狩野川 徳倉水位	対応	土砂災害
堤防高	5相当	8.4m	自宅が浸水していないならば最新の注意を払って立退き避難 避難行動要支援者がいる場合は2階以上など自宅の高い場所に避難 河川の付近に居住していてすでに付近が浸水している場合は立ち退き避難はしない	土砂災害発生
氾濫危険水位	4相当	7.2m	避難要支援者は避難開始 健全者も立退き避難または屋内安全確保により全員が安全な場所へ避難する	土砂災害警戒情報
避難判断水位	3相当	6.8m	連合自治会長は単位自治会長に、必要に応じ公民館や自治会館を避難所に開設するよう依頼 避難行動要支援者は避難を検討 市の避難所が開設された場合は必要に応じ民生委員や防災指導員等と協力し避難行動要支援者に声掛け又は同行避難	大雨警報
氾濫注意水位	2相当	4.0m	情報ツールによる大雨や気象情報等の状況確認開始 非常持ち出し品の準備	大雨警報
水防団待機水位		3.0m	避難行動要支援者は立ち退き避難の準備、2階以上に住居がある人は2階以上へ移動 民生委員や防災指導員と協力し避難行動要支援者への声掛け	

6 地区別カルテ

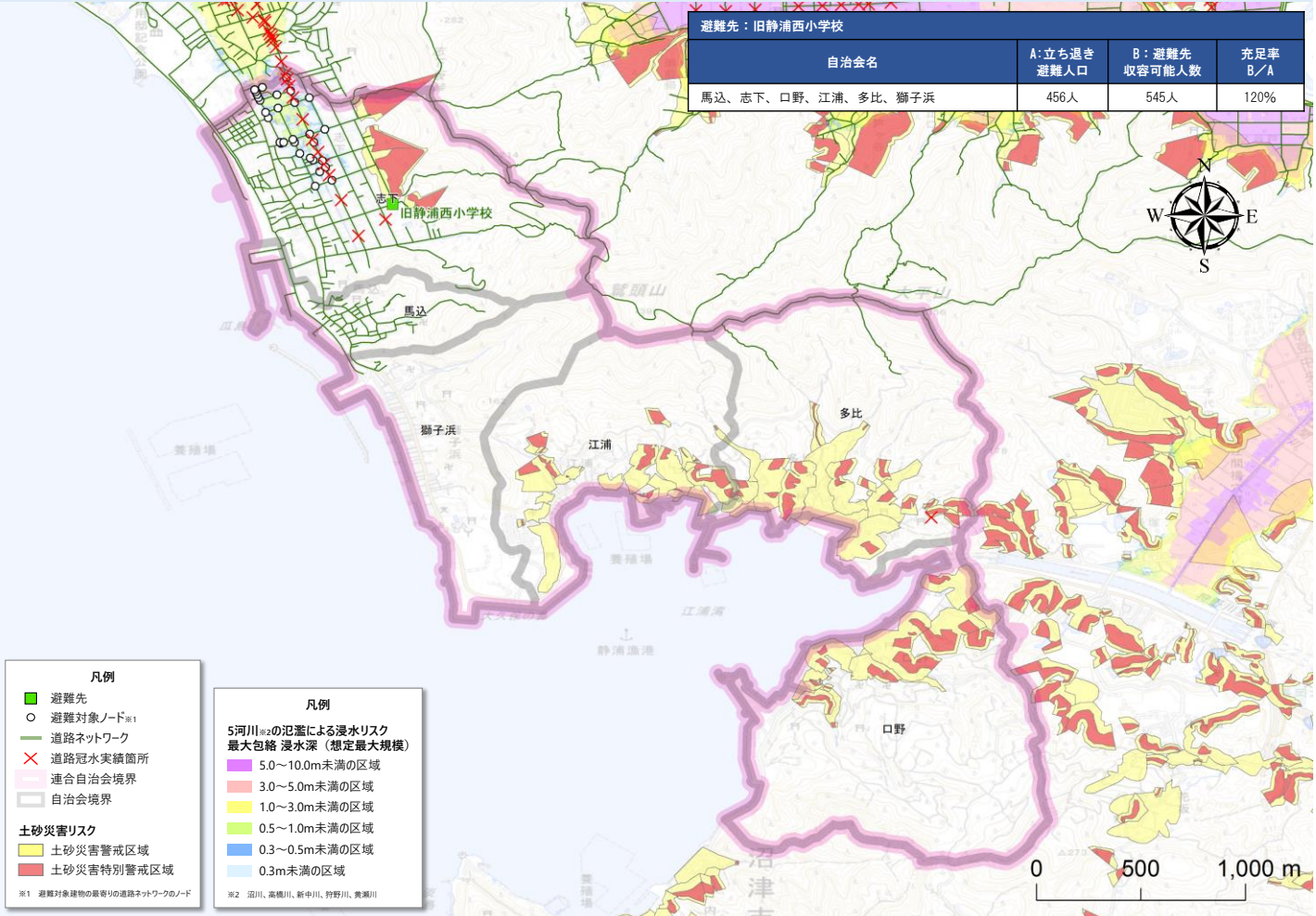
避難判断水位到達後に避難行動を開始したときは、志下地区に居住する方が氾濫危険水位到達までに避難行動を完了できない形になります（カルテに示す第五開北地区の結節点 29 箇所のうち 5 箇所が避難困難の赤色を示しています）。

静浦地区

地区別洪水避難カルテ 基本情報

避難先：旧静浦西小学校

自治会名	A:立ち退き 避難人口	B:避難先 収容可能人数	充足率 B/A
馬込、志下、口野、江浦、多比、獅子浜	456人	545人	120%



凡例

- 避難先
- 避難対象ノード※1
- 道路ネットワーク
- 道路冠水実績箇所
- 連合自治会境界
- 自治会境界

土砂災害リスク

- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域

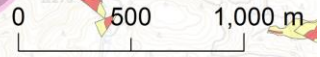
※1 避難対象建物の最寄りの道路ネットワークノード

凡例

5河川※2の氾濫による浸水リスク
最大包絡 浸水深（想定最大規模）

- 5.0~10.0m未満の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 1.0~3.0m未満の区域
- 0.5~1.0m未満の区域
- 0.3~0.5m未満の区域
- 0.3m未満の区域

※2 沼川、高橋川、新中川、狩野川、黄瀬川



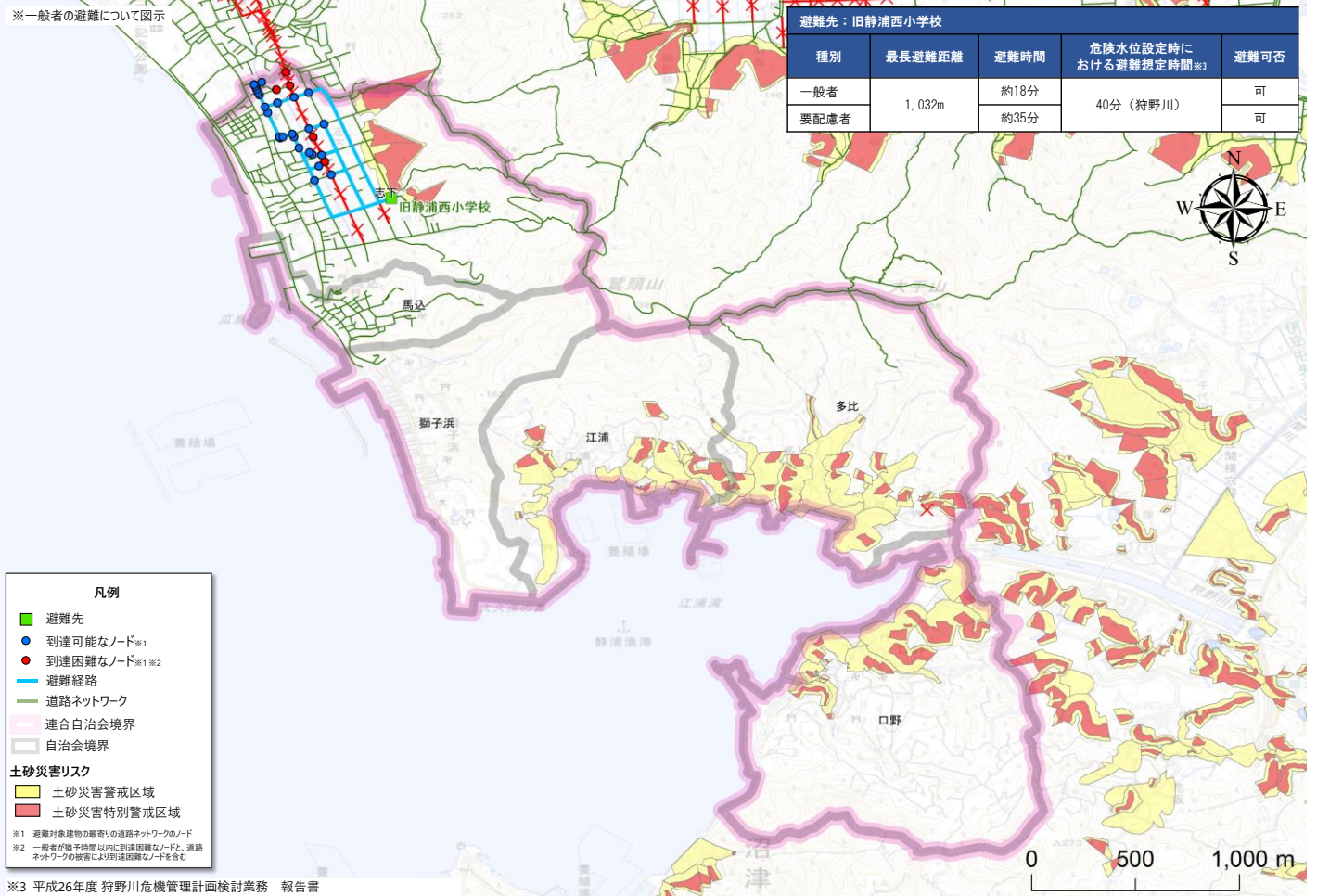
静浦地区

地区別洪水避難カルテ 住民避難シミュレーション結果(冠水実績箇所:通行不可)

※一般者の避難について図示

避難先：旧静浦西小学校

種別	最長避難距離	避難時間	危険水位設定時における避難想定時間※3	避難可否
一般者	1,032m	約18分	40分（狩野川）	可
要配慮者		約35分		可



凡例

- 避難先
- 到達可能なノード※1
- 到達困難なノード※1※2
- 避難経路
- 道路ネットワーク
- 連合自治会境界
- 自治会境界

土砂災害リスク

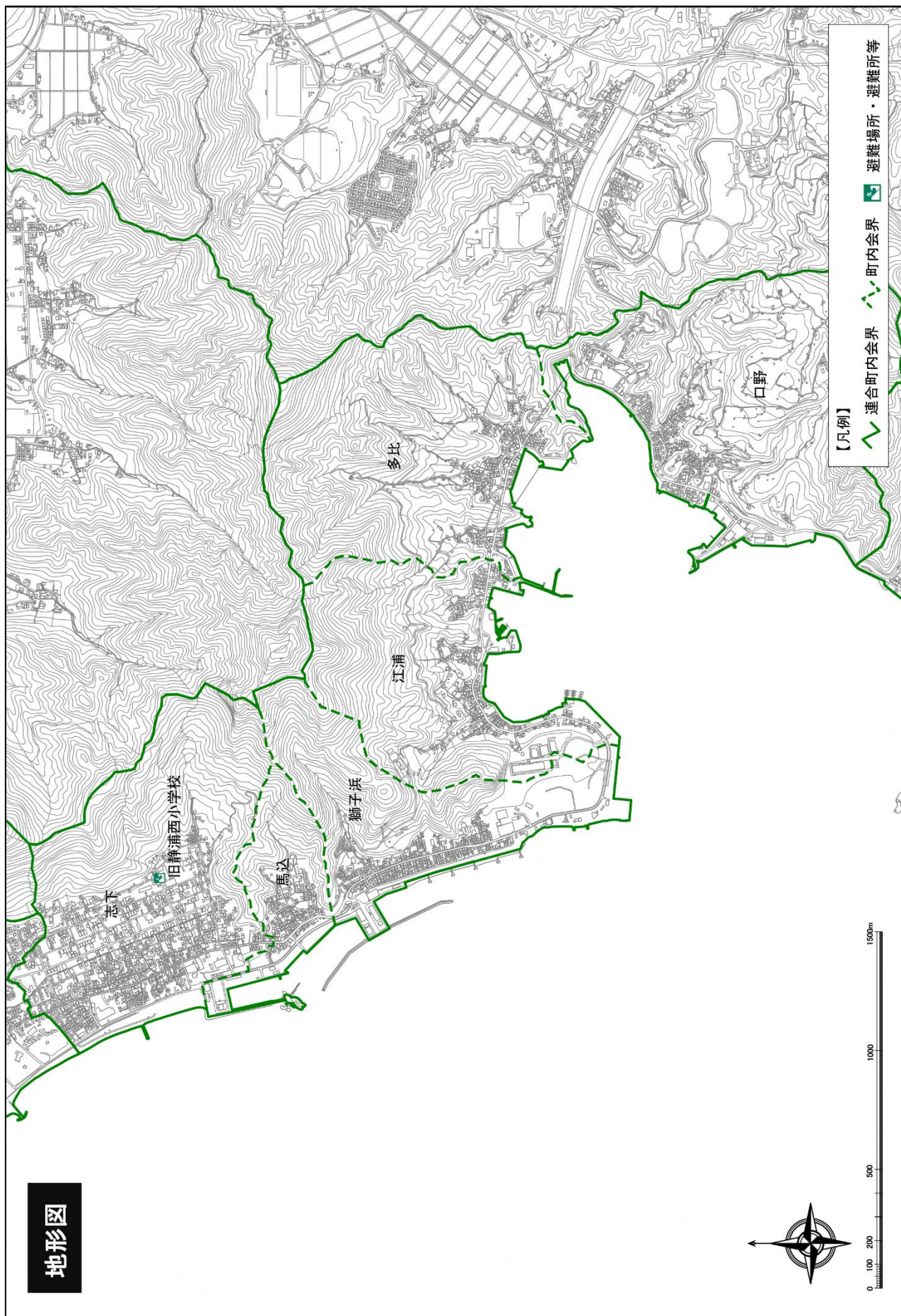
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域

※1 避難対象建物の最寄りの道路ネットワークのノード
 ※2 一般者が標準時間以内で到達困難なノードと、道路ネットワークの被害により到達困難なノードを含む

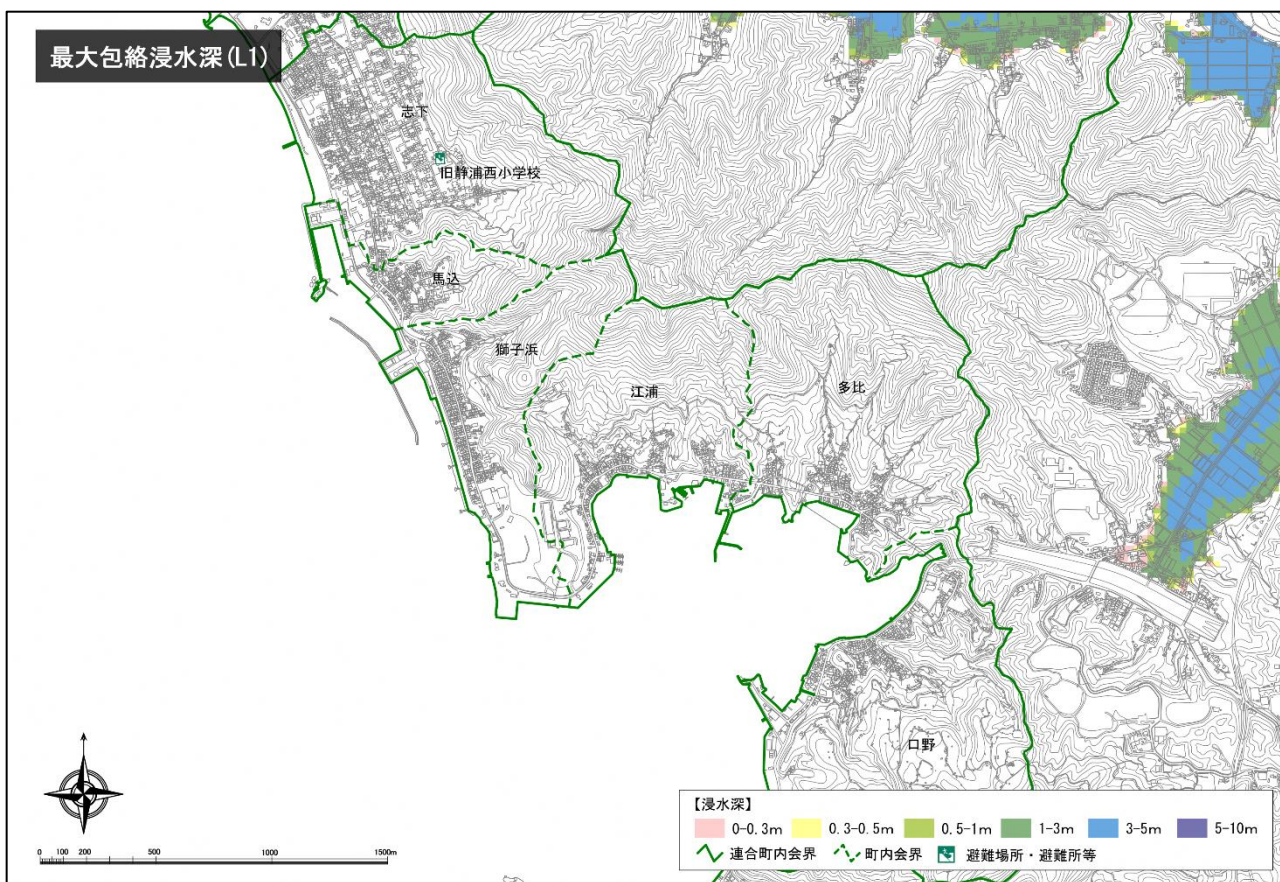
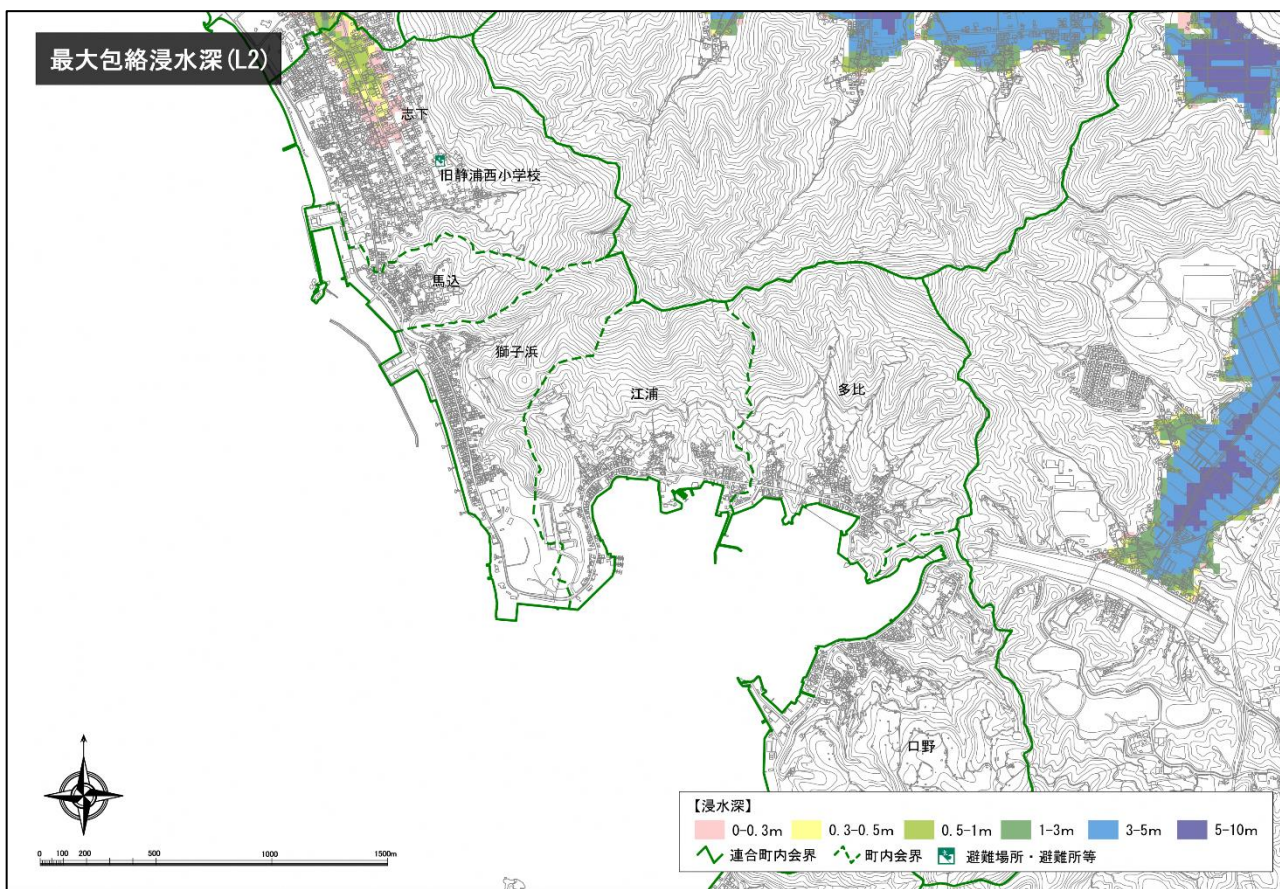


※3 平成26年度 狩野川危機管理計画検討業務 報告書 (P.150 猶予時間設定の考え方 (沼津市)) による住民避難の時間=40分

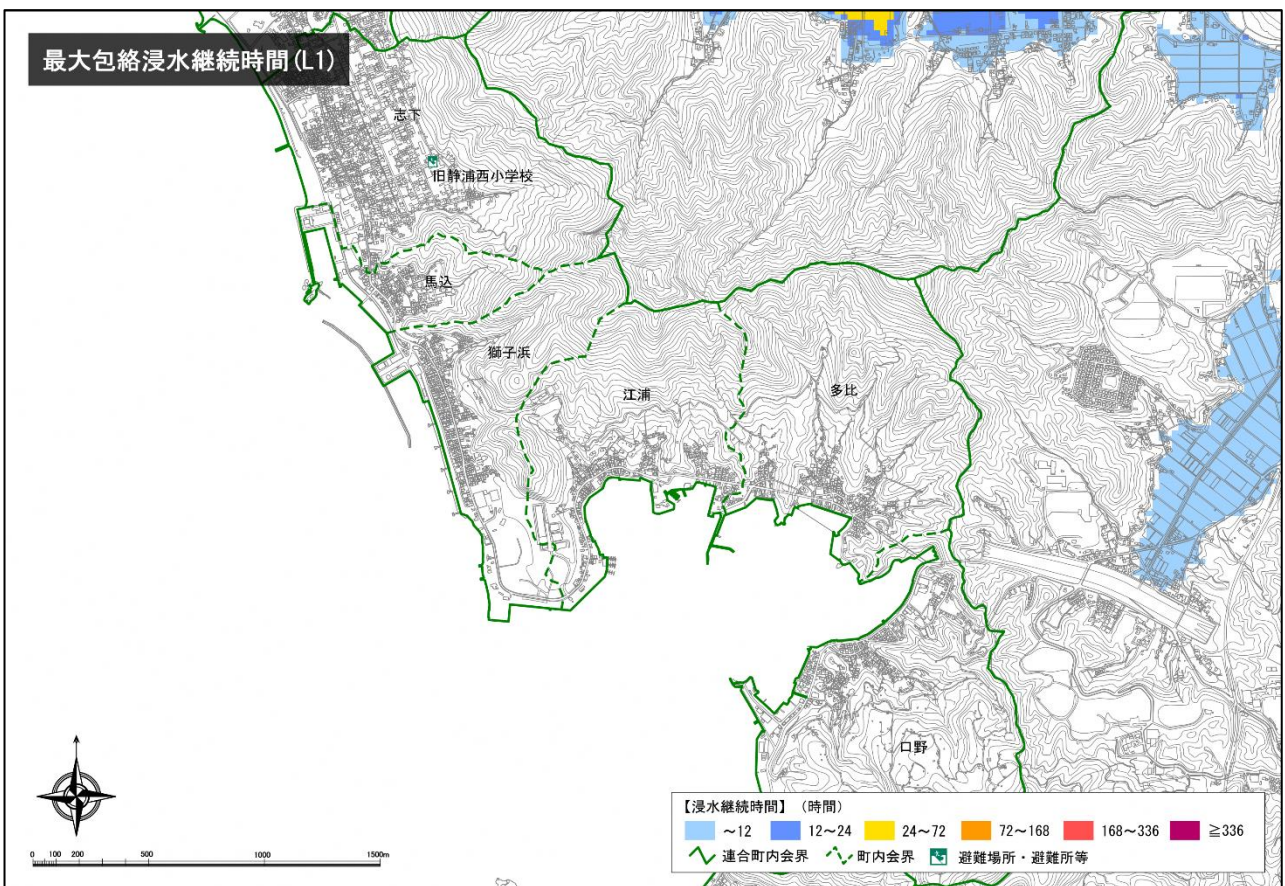
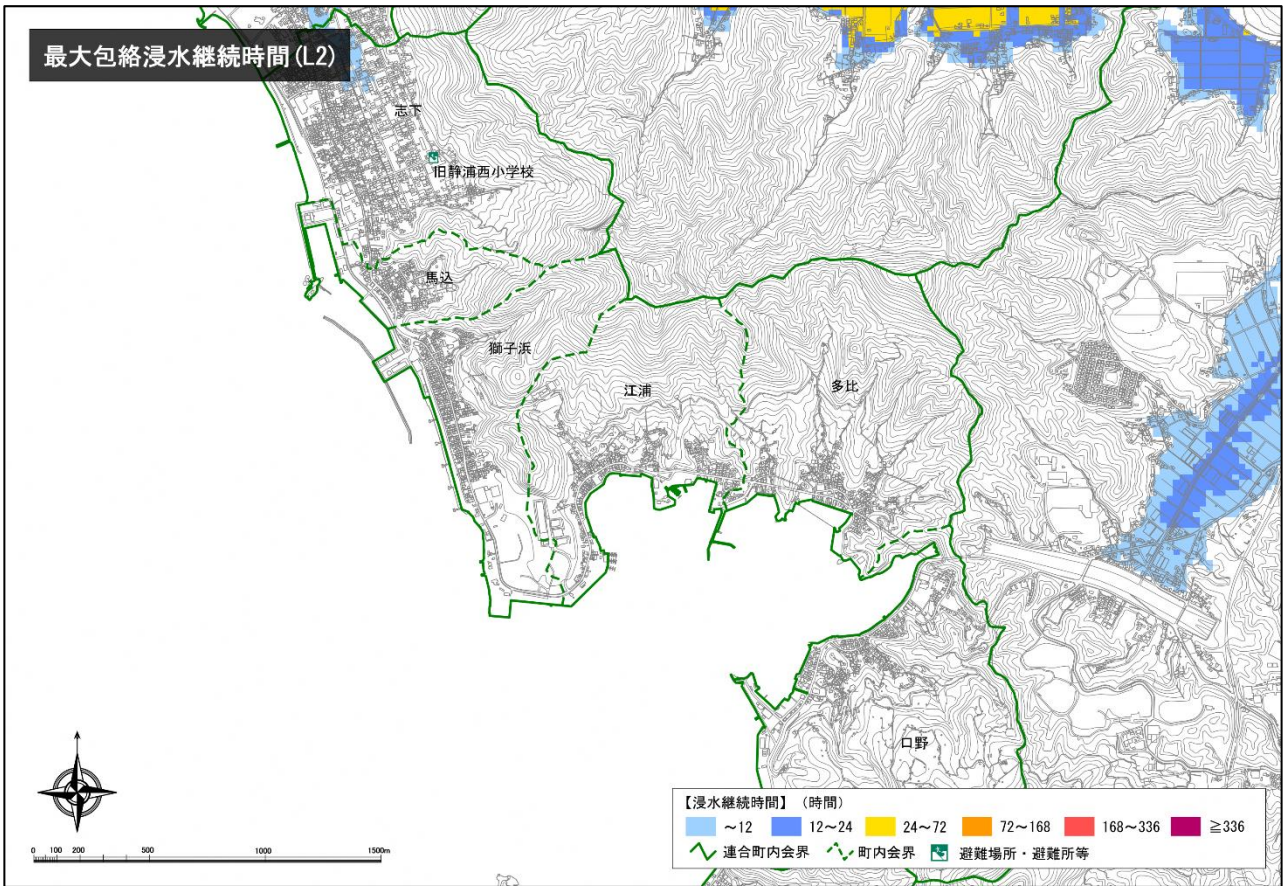
地形図で自宅の位置を確認してみよう



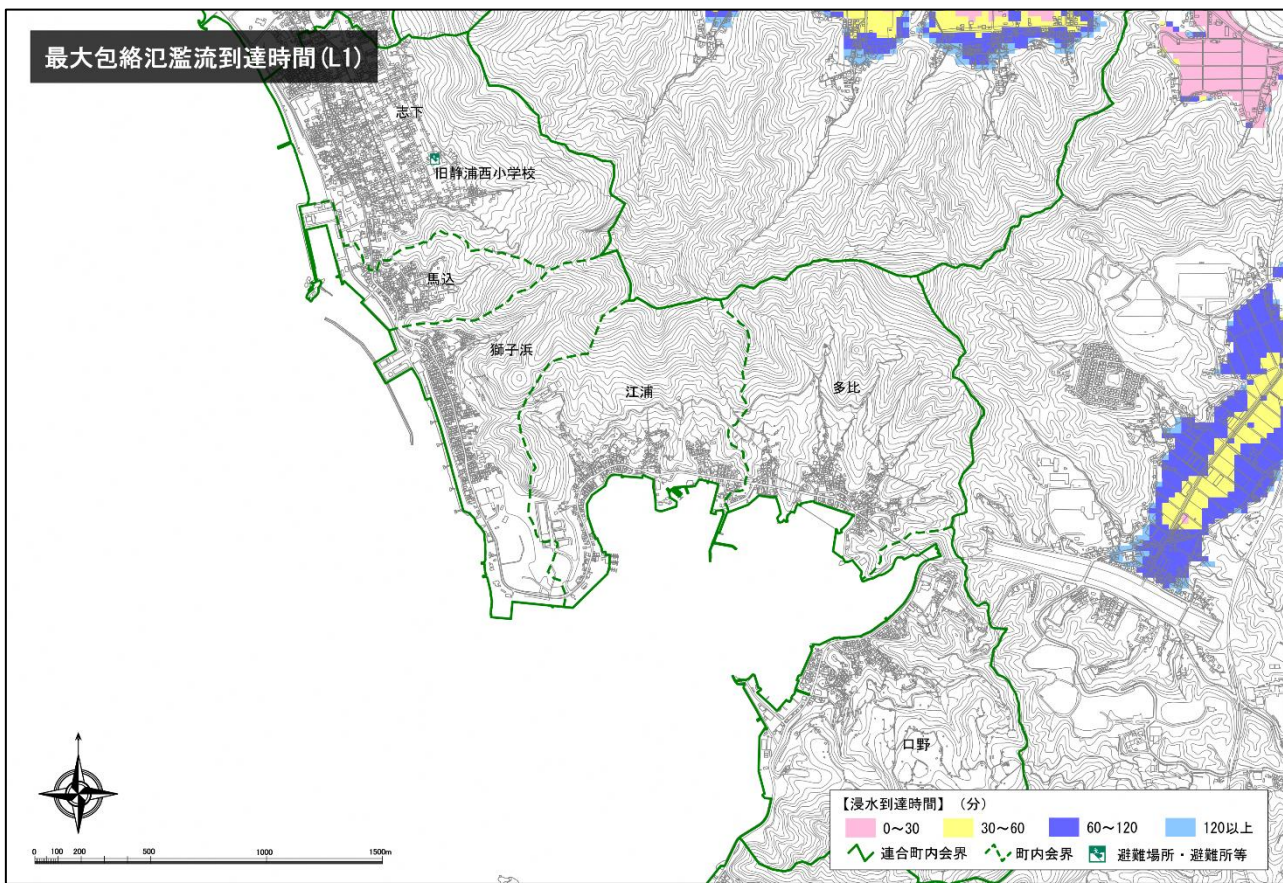
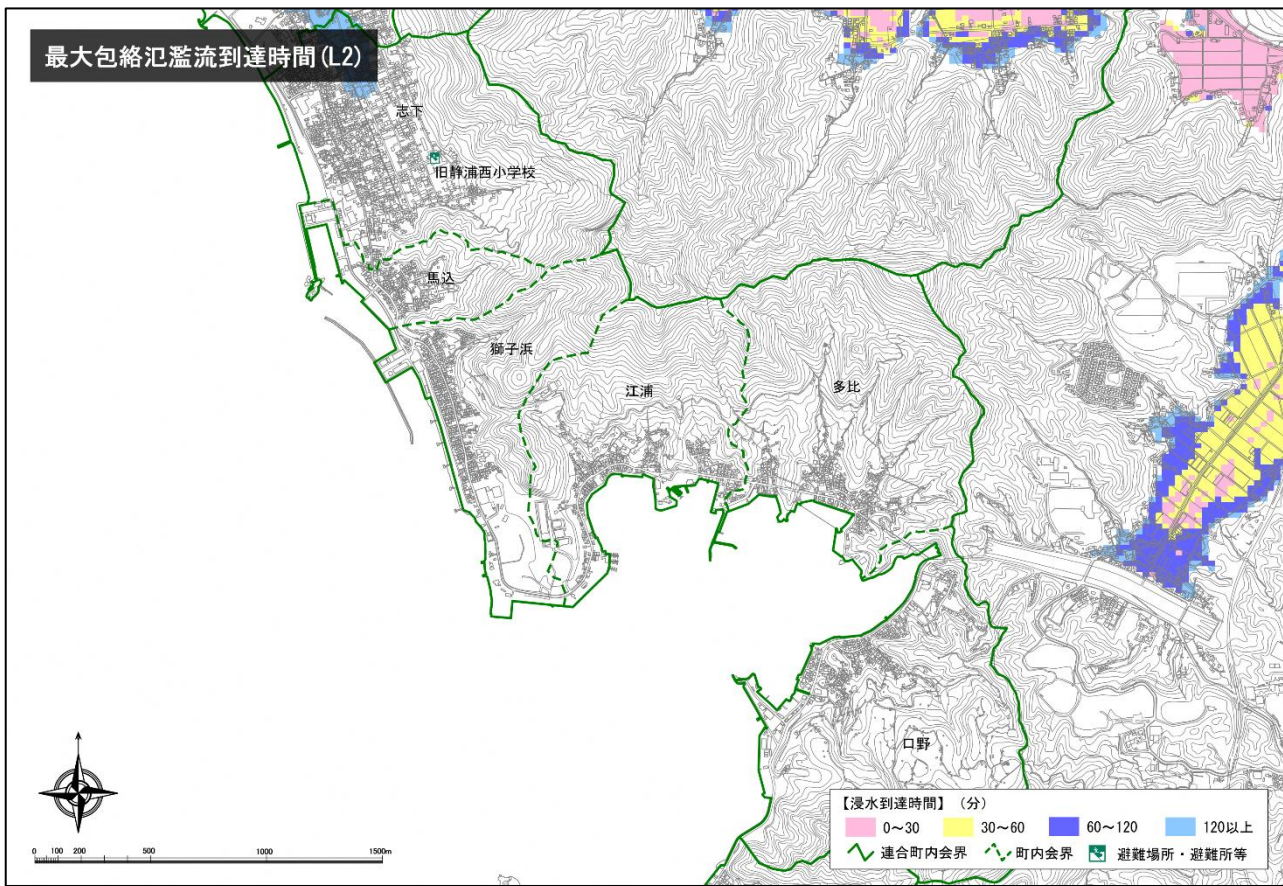
浸水範囲と浸水深を確認してみよう



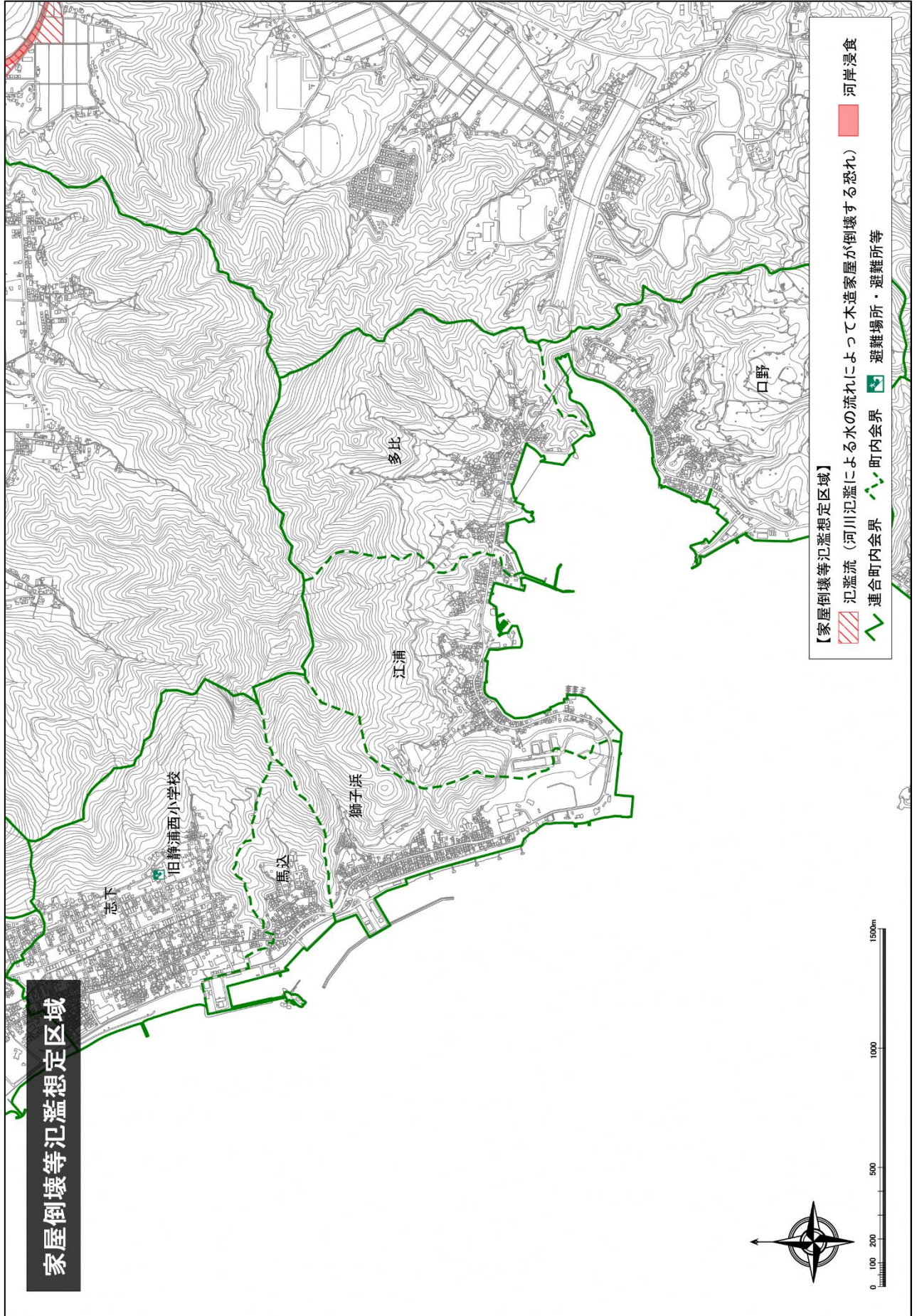
浸水継続時間を確認してみよう



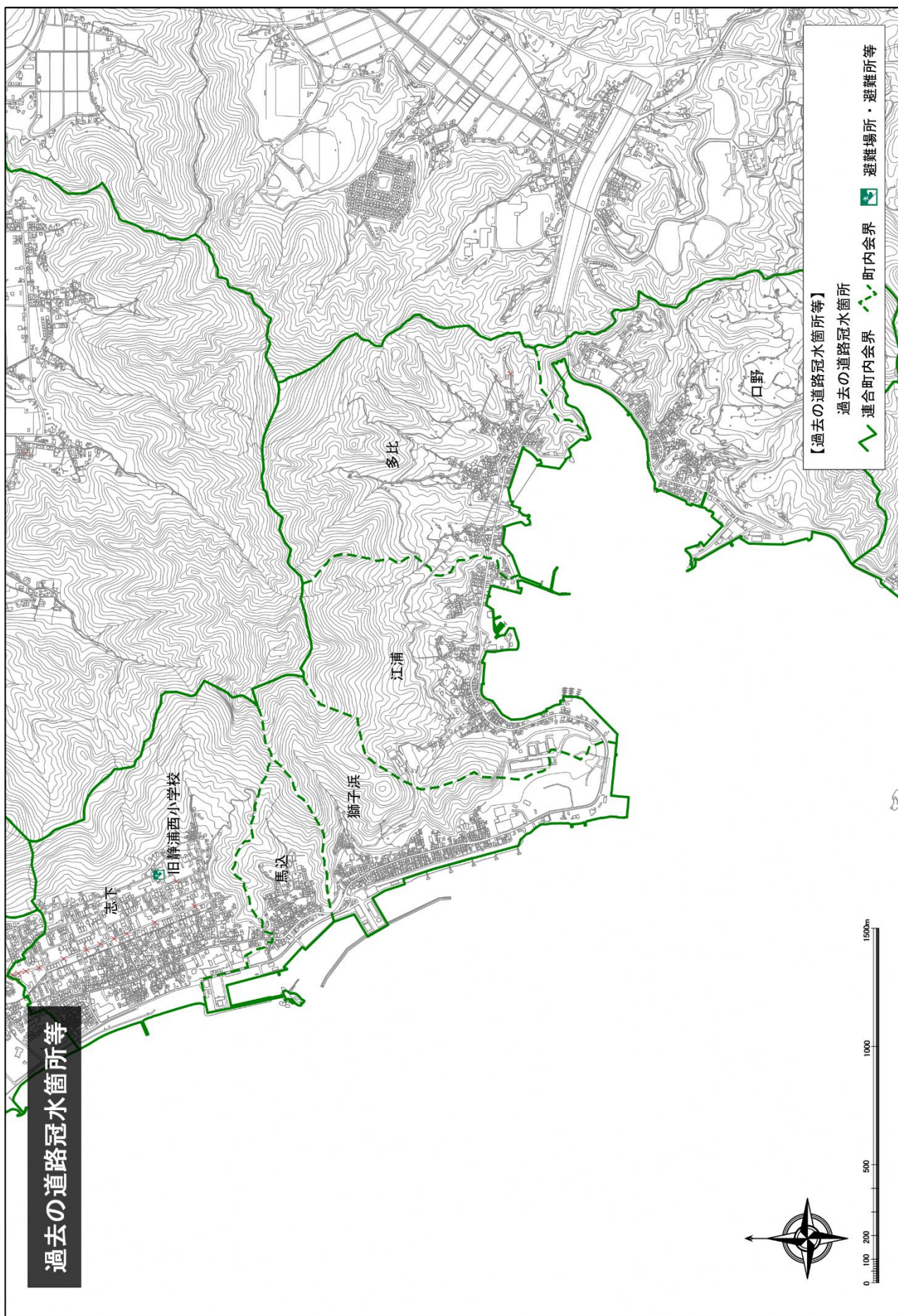
氾濫流到達時間を確認してみよう



家屋倒壊等氾濫想定区域を確認してみよう



過去の浸水箇所を確認してみよう



土砂災害ハザードマップを確認してみよう

